

**津島市の基礎的概況や
市民意識調査結果等の
各種調査結果のポイント
【参考資料1～6 抜粋】**

津島市の基礎的概況(参考資料1)

I 社会経済動向の整理及び分析

1. 上位計画の整理

(1) 中部圏開発整備計画

- ヒト、モノ、カネ、情報を引き付け対流する「世界ものづくり対流拠点」を形成
- スーパー・メガリージョンのセンターを担い、我が国の成長を牽引

(2) 第二次国土形成計画 ー 中部圏広域地方計画

- 暮らしやすさと歴史文化に彩られた“世界ものづくり対流拠点-中部”

(3) 愛知県政策指針、あいちビジョン2020

- ①リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏
5千万人リニア大交流圏の西の拠点として、人、モノ、カネ、情報を呼び込む大都市圏
- ②日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点
企業や人材が集まり、革新的な技術の創出や成長産業への展開が進む最強の産業県
- ③安心安全で、誰もが夢と希望を抱き、活躍する社会
人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する社会

2. 社会・経済動向の整理

(1) 本格的な人口減少社会へ

- 少子高齢社会の急速な進展、生産年齢人口の減少、社会保障費の増大

(2) 「地方創生」による地方分権の深化

- 自律的で持続的な社会の創生

(3) 協働を通じた「新しい公共」の創出

- 市民、NPO、企業等の活動による「新しい公共」

(4) 「インフラ老朽化」に対する行政経営戦略

- 戦略的な公共施設の維持管理

(5) 安全・安心な暮らしの実現を図るリスク管理ニーズの高まり

- 事前防災、減災、自助・共助の強化等の国土強靱化施策の推進
- 新型コロナ等感染症対策、新しい生活様式を踏まえた暮らし

(6) 高速交通体系の充実による「スーパー・メガージョン」構築の可能性

- 名古屋都市圏の競争力強化、個性ある都市づくり

(7) グローバル競争の激化

- グローバル化の進展に伴う技術開発力の強化

(8) 「第四次産業革命」を引き起こすAI、IoTなどの新技術

- 超スマート社会の形成(Society5.0)

(9) 持続可能な社会の目標となるSDGsを目指す動き

- 環境に配慮して経済や社会を維持する持続可能性

(10) 多様性を認めあう社会づくりの推進

- 多文化共生の推進

(11) 固有の歴史文化の再生と活用

- 歴史文化の保全・再生、観光の振興、市民のおもてなし、プロモーション

(12) 「2020年改革」で大きく変動する教育環境

- いじめ、不登校、困窮などの問題に対処するために学校、家庭、地域の連携が重要に

II 基礎的な概況・動向の分析

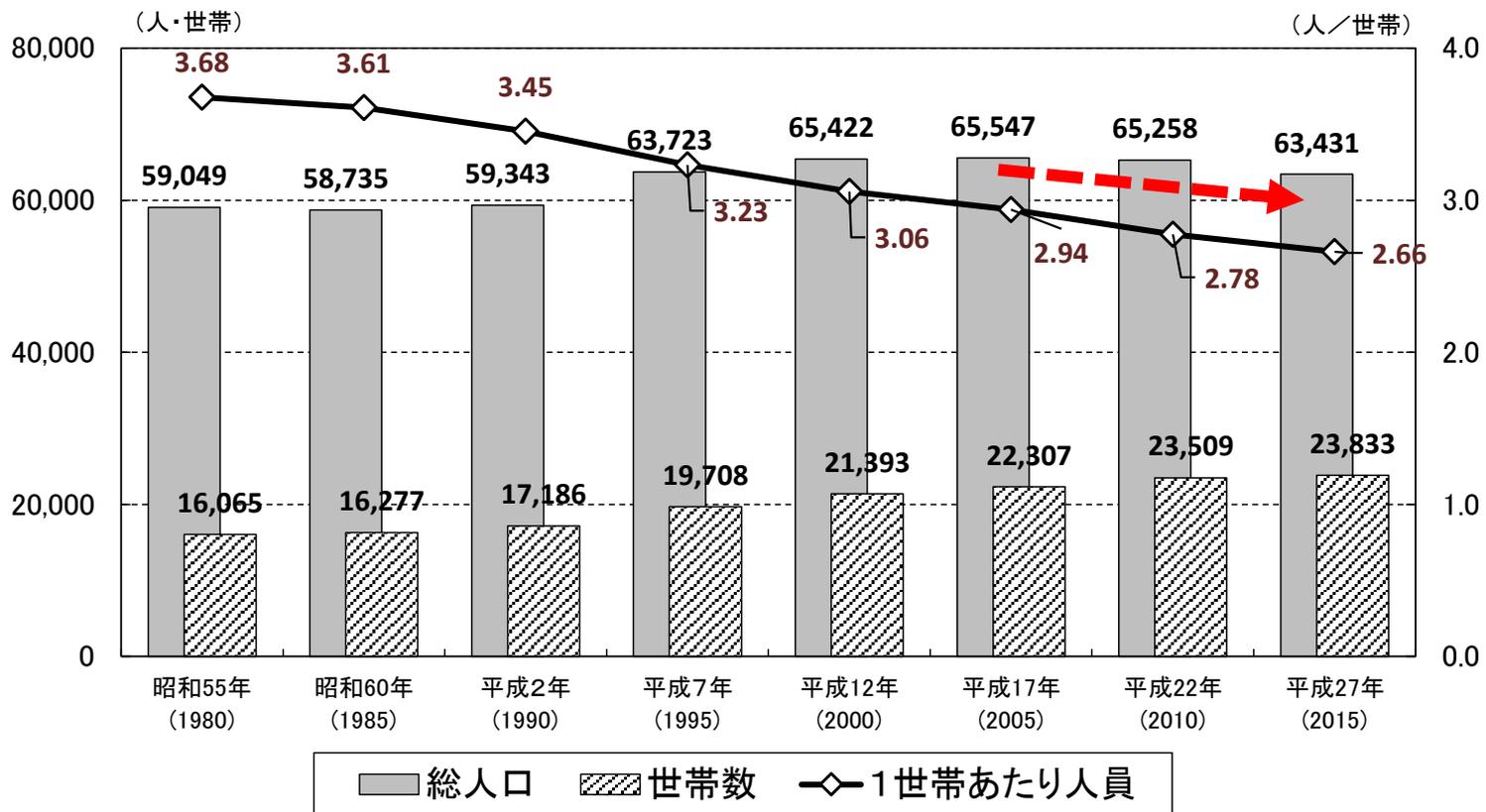
1. 津島市の基礎的な動向

(1)人口の動向

●平成17年をピークに減少。1世帯あたり人員の減少に伴い世帯数は増加している。(⇒図)

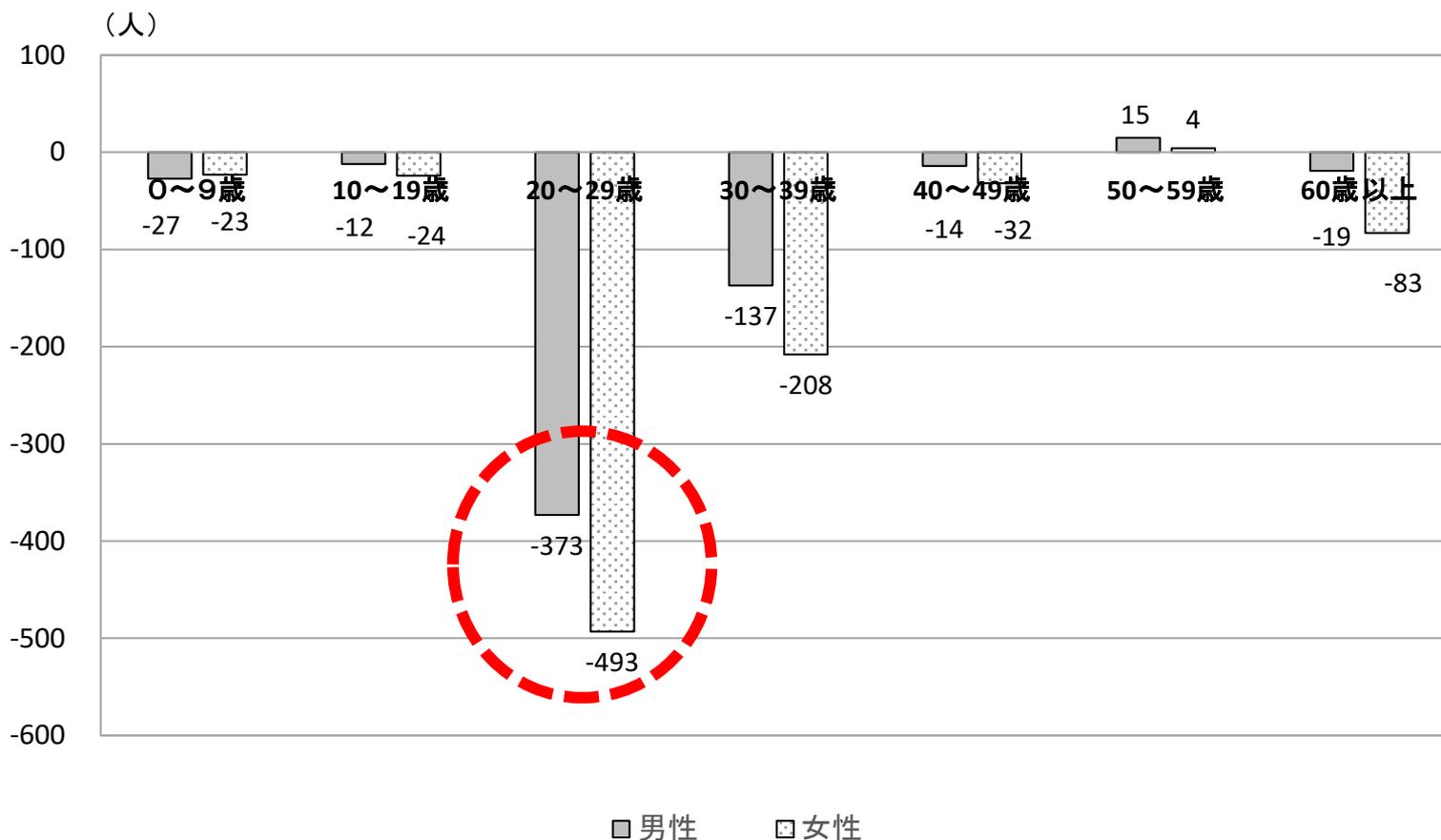
●少子高齢化の進展: 老年人口27.9%、生産年齢59.4%、年少12.7%

【人口動向(昭和55年～平成27年 国勢調査)】



- 平成22年(2010年以降)の自然減、社会減が続く。
- 特に20～29歳の男女の転出超過が大きい。(⇒図)
- あま市、愛西市、名古屋市との間の出入りが大きい。
- 昼夜間人口比率は94.5%

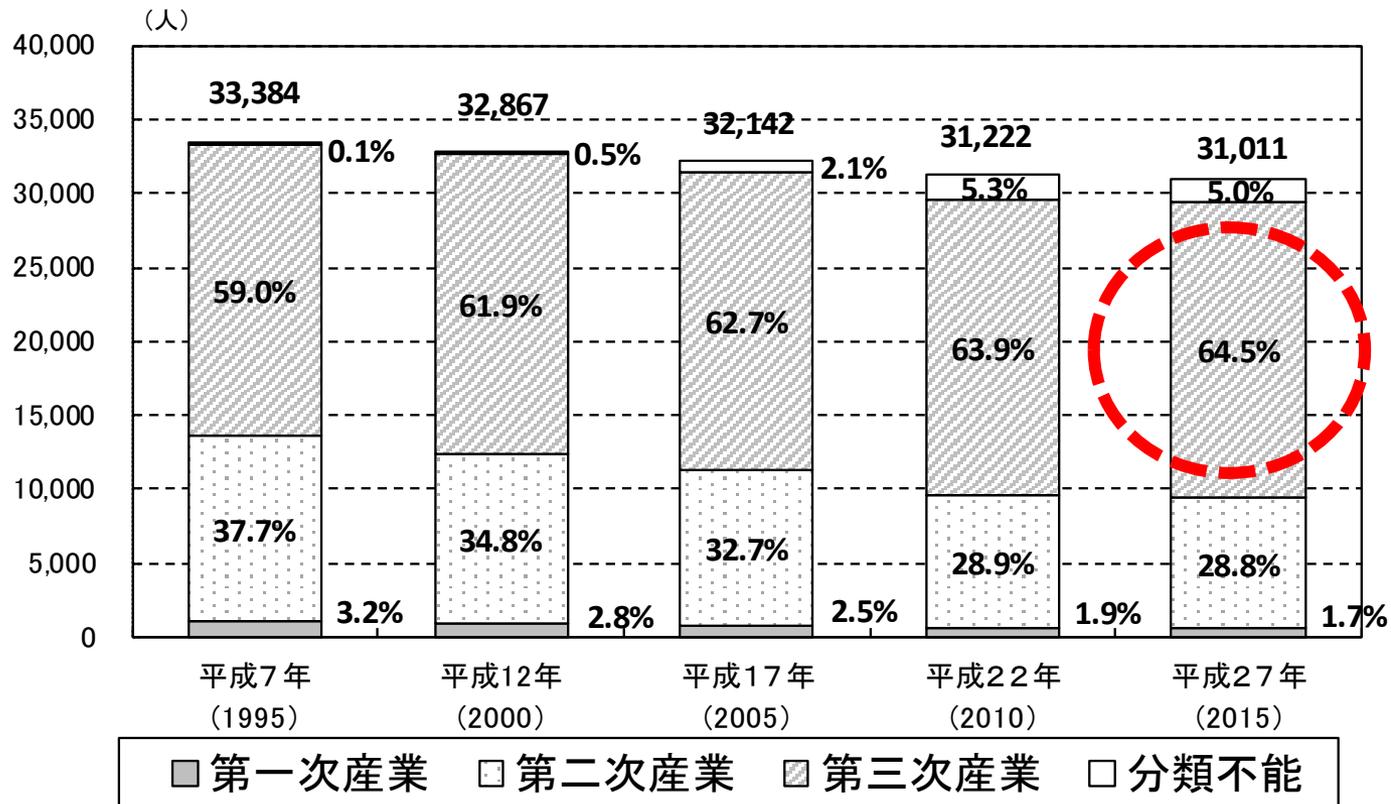
【年齢別の転出入(平成25(2013)～29年(2017))
総務省「住民基本台帳人口移動報告」】



(2) 産業の動向

- 第一次産業就業比率が1.7%、第二次が28.8%、第三次が64.5%。平成7年から第三次産業就業比率が高まり、第二次産業就業比率が低下傾向(⇒図)
- 市内事業所は2,929、従業者数は30,076人(平成26年)
- 業種別の事業所数では、卸売業・小売業が26.3%、製造業が12.9%、宿泊業・飲食サービス業が11.2%

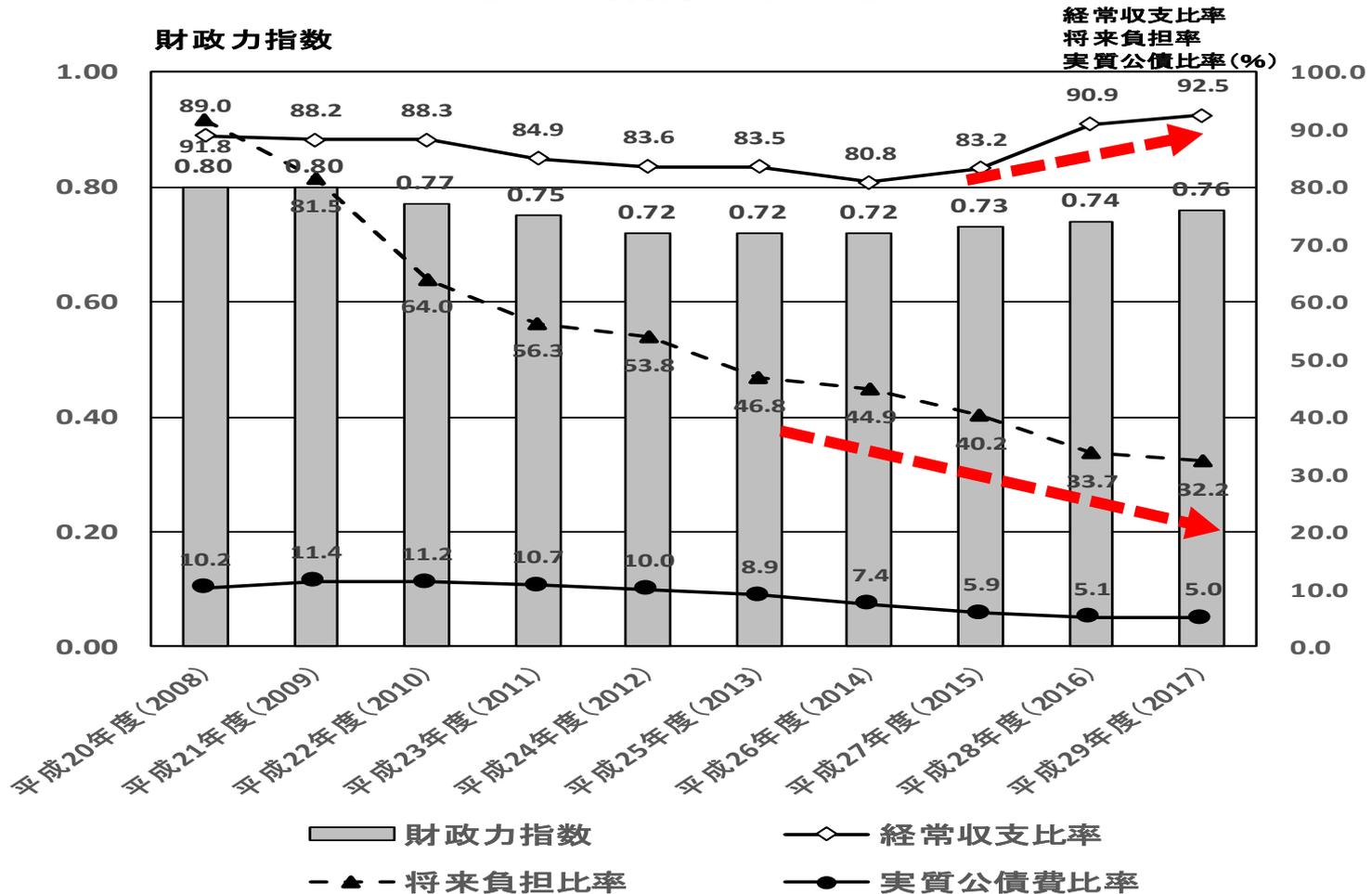
【産業別就業人口 国勢調査／就業者総数に対する割合】



(3) 財政状況

- 財政力指数が0.76、経常収支比率が92.5%、将来負担比率が32.2%、実質公債費比率が5.0%(平成29年度(2017)年度)
- 近年、財政力指数、経常収支比率が上昇、将来負担比率、実質公債費比率は低下

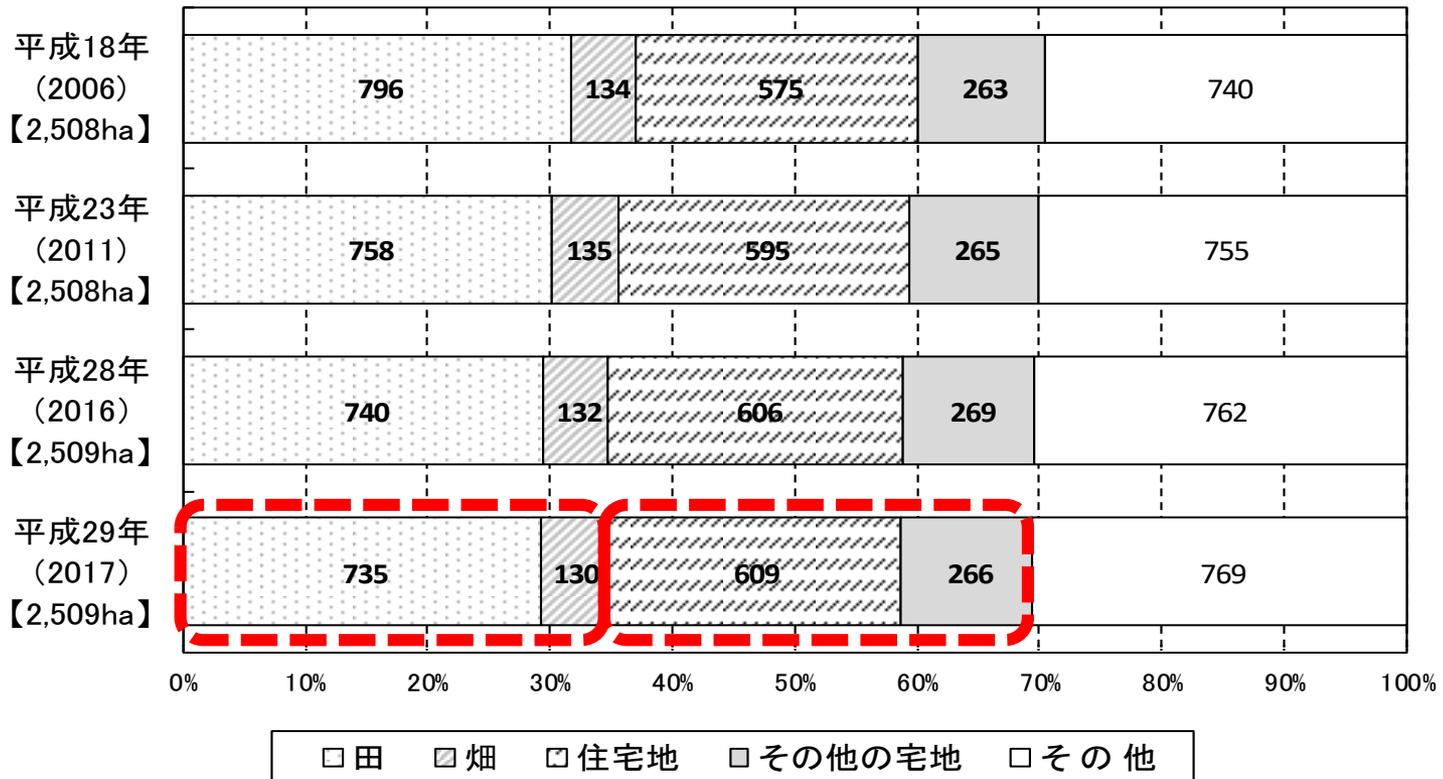
【財政指標の状況】



(4)土地利用

- 津島市の行政面積は2,509ha、地目別土地利用面積は田と畑は合わせて865ha、宅地は875ha(平成29年(2017年))。(⇒図)
- 用途地域指定状況は、第1種住居地域が多く住居系用途が約80%となっているのが特徴

【地目別土地利用面積
愛知県「土地に関する統計年報」】



2. 都市間比較による津島市の特性分析

【比較対象都市の概要 国勢調査】

			人口（人） H27	人口増加率 (H22-27 (%))
周辺都市	1	津島市	63,431	-2.8
	2	稲沢市	136,867	0.4
	3	愛西市	63,088	-2.9
	4	清須市	67,327	2.3
	5	弥富市	43,269	0.0
	6	あま市	86,898	0.2
	7	北名古屋市	84,133	3.1
類似都市				
類団Ⅱ-1	1	津島市	63,431	-2.8
Ⅱ-1	2	犬山市	74,308	-1.2
Ⅲ-1	3	江南市	98,359	-1.4
Ⅱ-O	4	大府市	89,157	4.6
Ⅱ-1	5	知多市	84,617	-0.2
Ⅱ-O	6	知立市	70,501	3.1
Ⅱ-1	7	豊明市	69,127	-0.9
Ⅱ-1	8	尾張旭市	80,787	-0.4

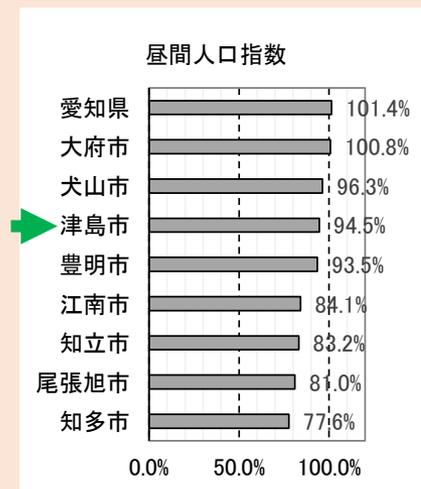
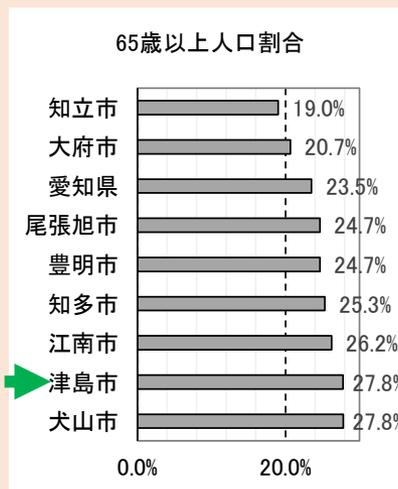
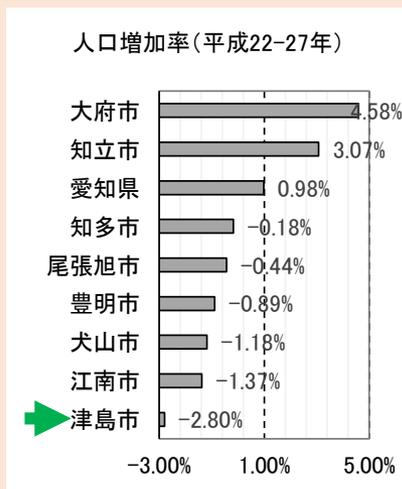
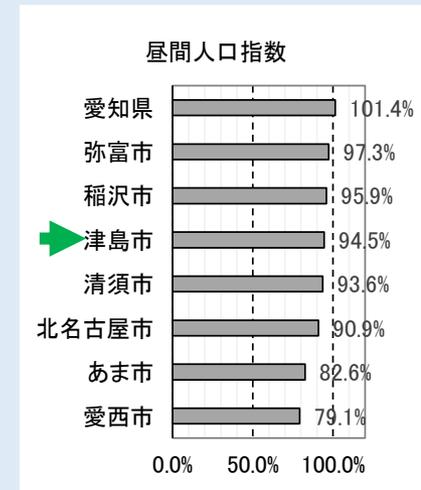
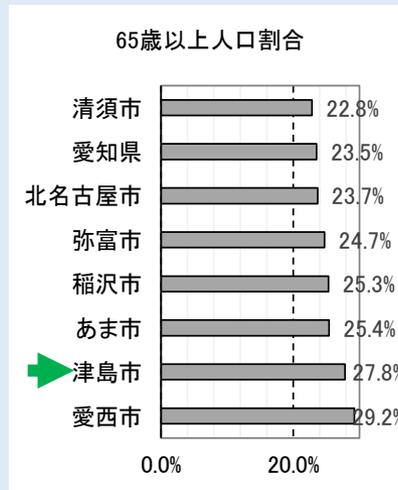
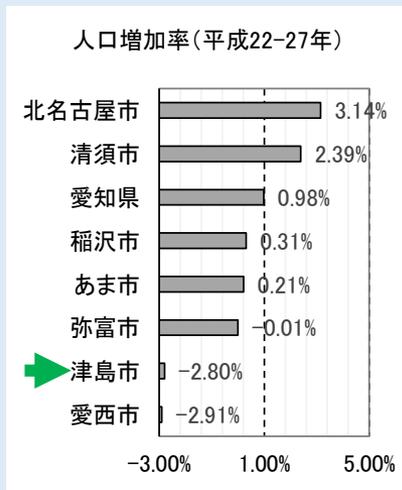
(1)人口動向

●津島市は周辺都市、類似都市と比較すると人口増加率が特に低い。

65歳以上人口割合が周辺都市よりも若干高い。

※各分野3～7つのデータについて比較

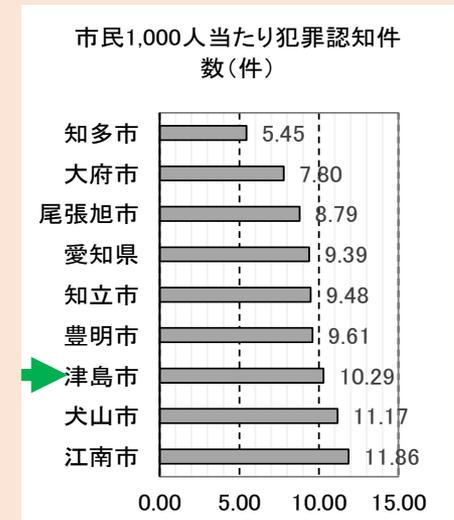
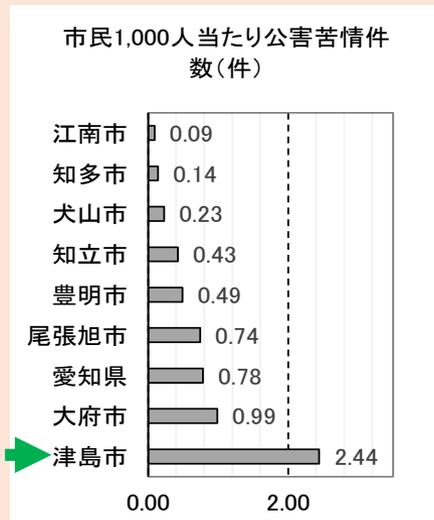
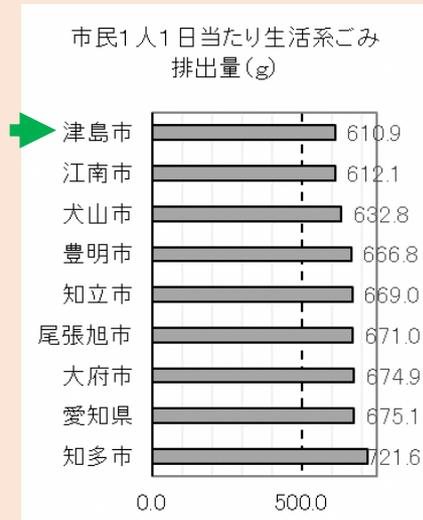
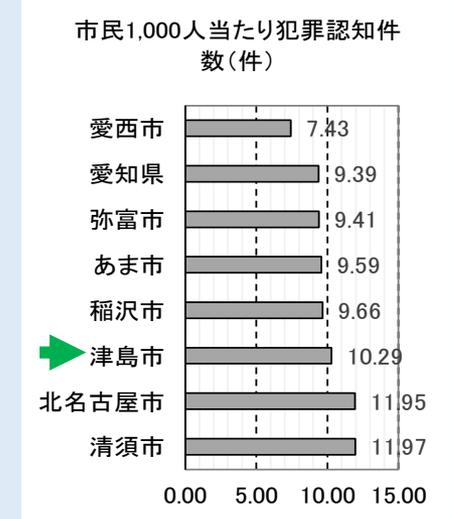
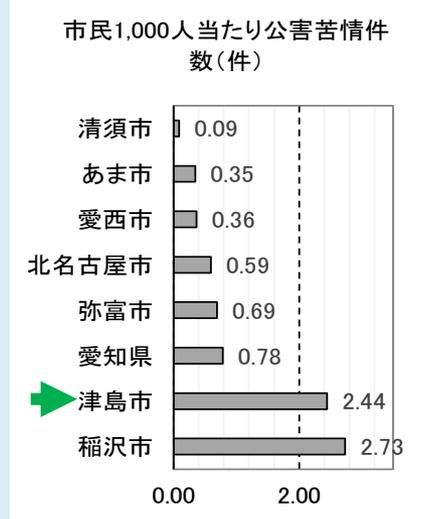
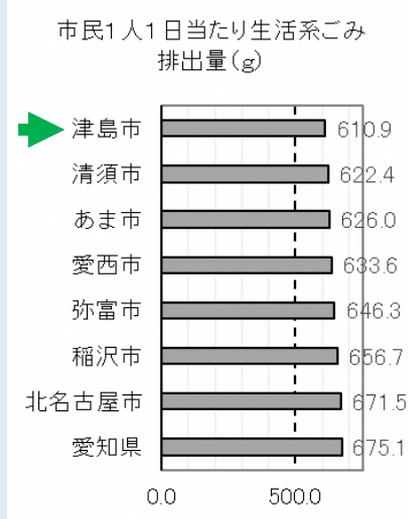
※図は代表的なデータのみ例示



(2)環境・安全

●津島市の公害苦情件数は周辺都市、類似都市の中でも多い。

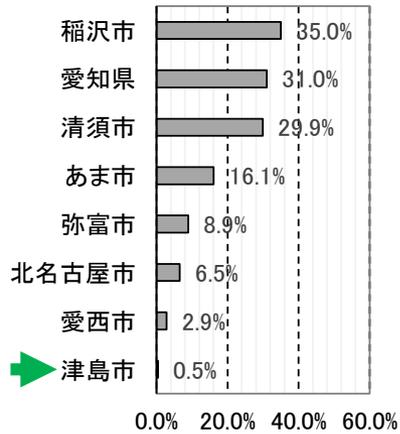
※良い評価順に上から表示(マイナス評価項目は低い順)



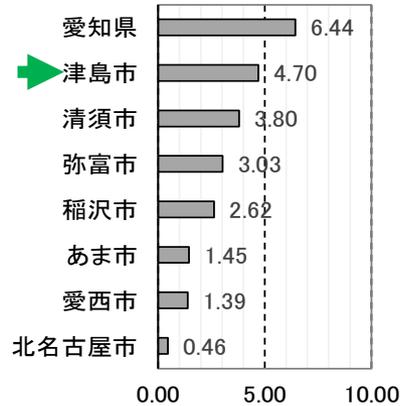
(3)都市基盤

●津島市は周辺都市、類似都市と比べて区画整理整備率が低い。
住宅地の平均価格は低い。

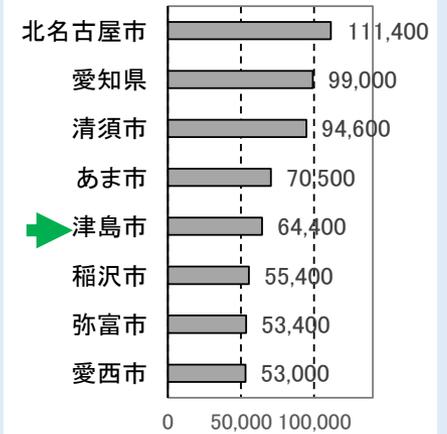
区画整理整備率(%)



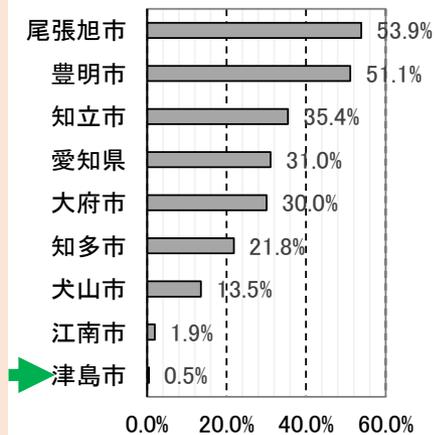
市民1人当たり都市公園面積 (㎡)



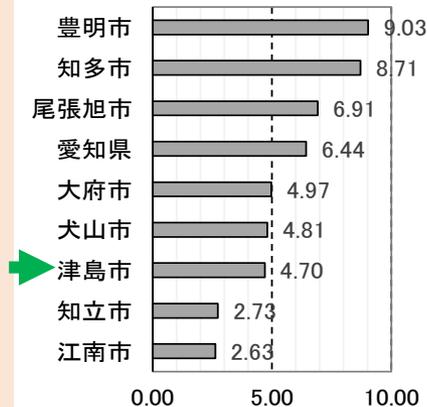
住宅地の平均価格(円/㎡)



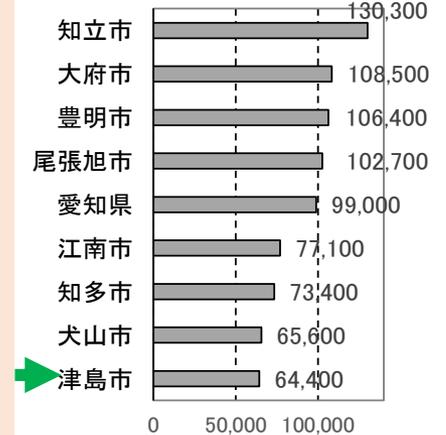
区画整理整備率(%)



市民1人当たり都市公園面積 (㎡)



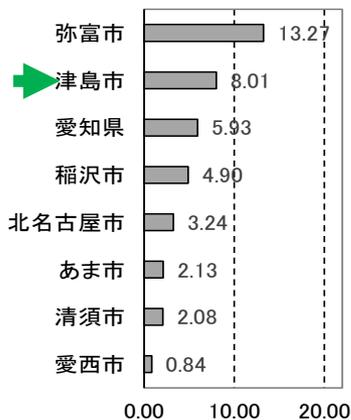
住宅地の平均価格(円/㎡)



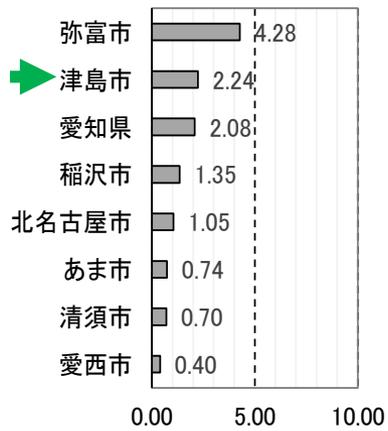
(4)医療・福祉

●津島市は周辺都市平均、類似都市平均よりも病床数は多く、
医師数は周辺都市よりも多い。

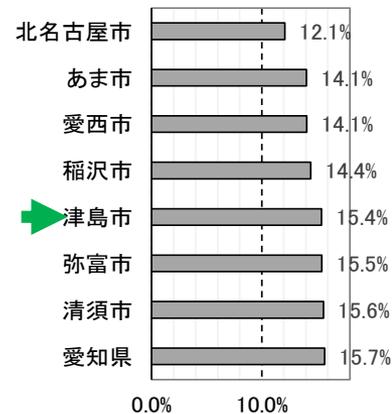
市民1,000人当たり病院及び一般診療所の病床数(床)



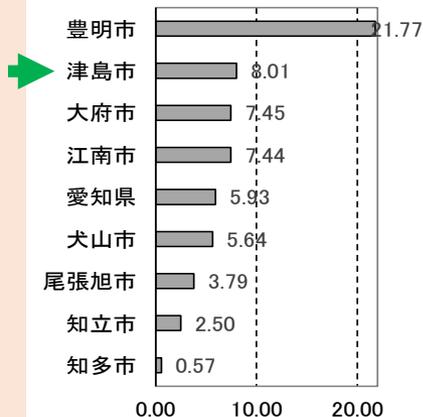
市民1,000人当たり医師数(人)



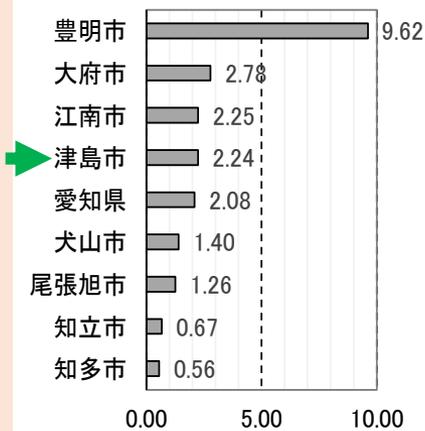
要支援・要介護認定者数/65歳以上人口(%)



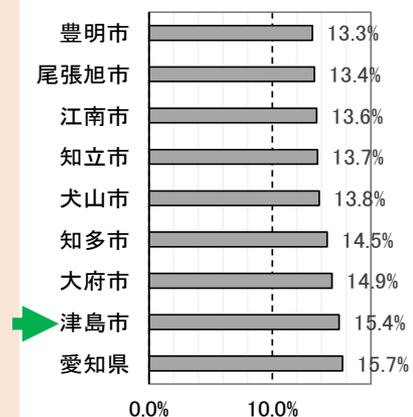
市民1,000人当たり病院及び一般診療所の病床数(床)



市民1,000人当たり医師数(人)

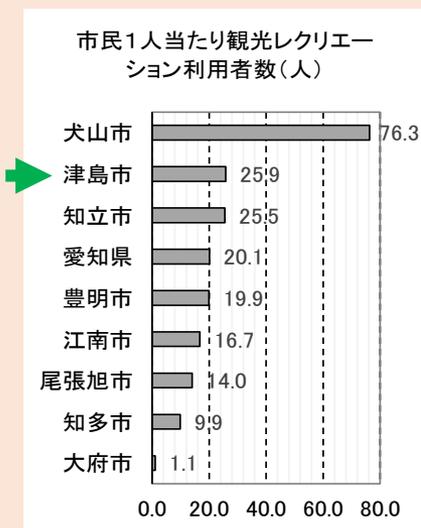
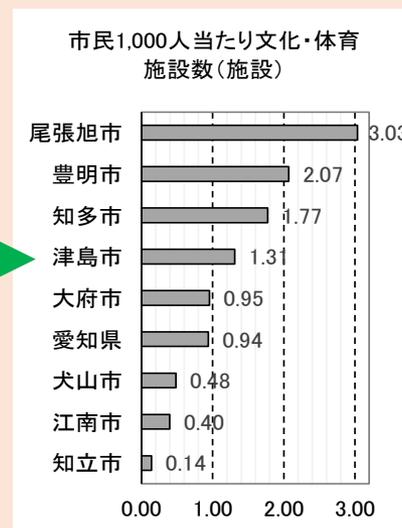
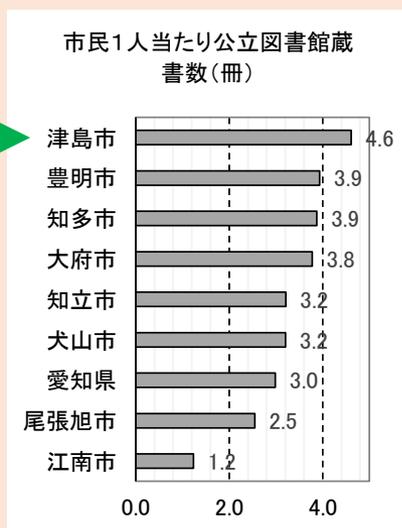
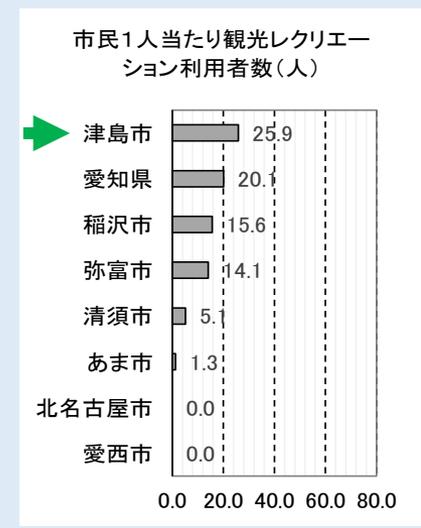
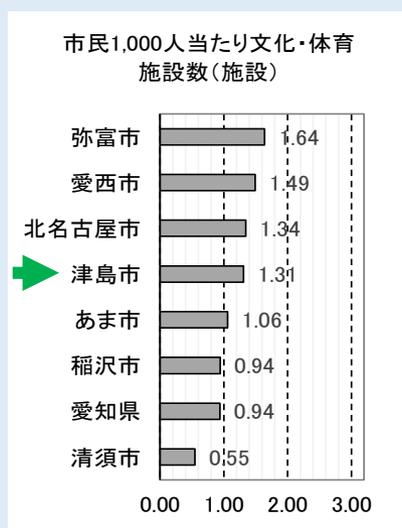
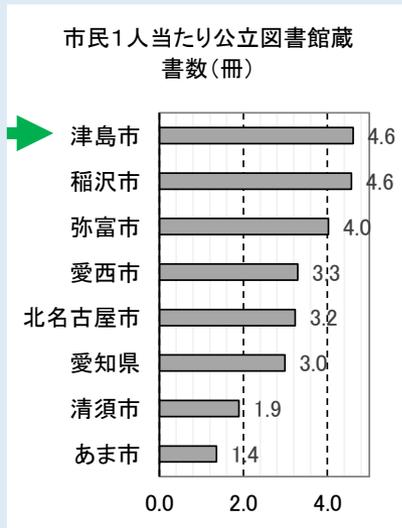


要支援・要介護認定者数/65歳以上人口(%)



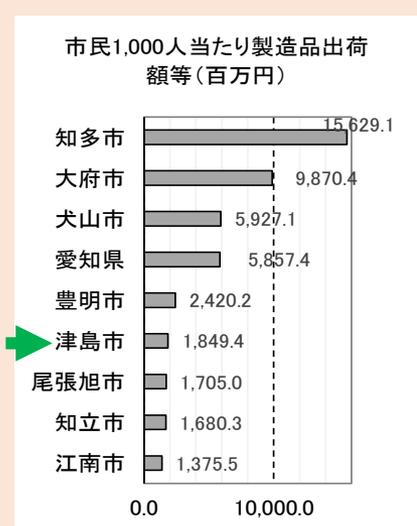
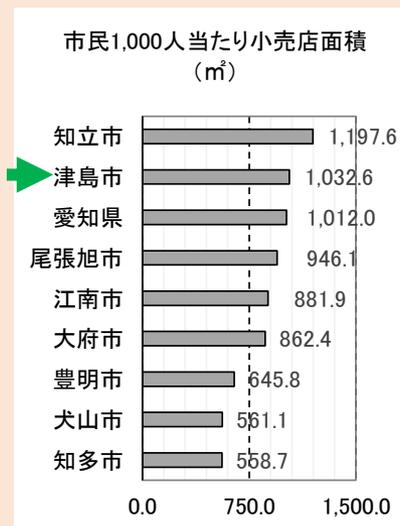
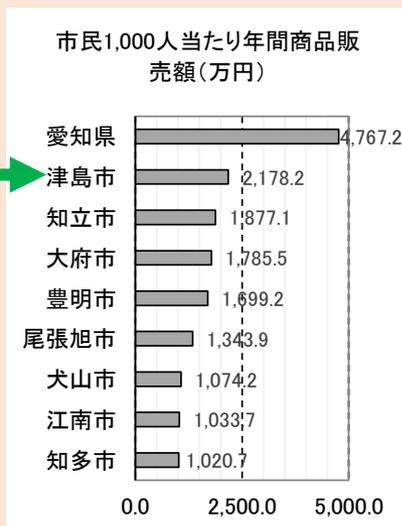
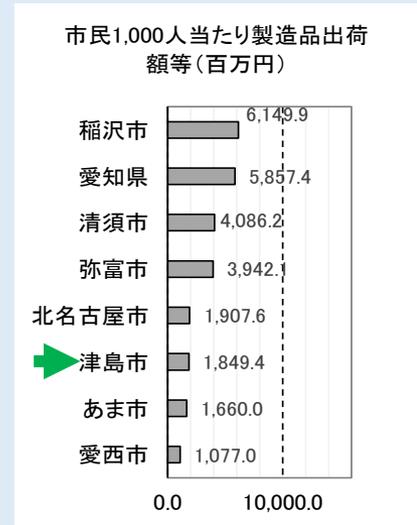
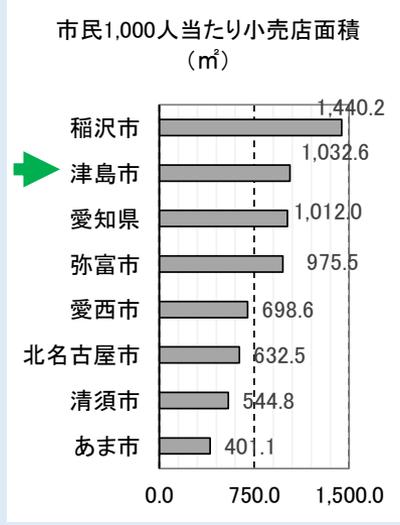
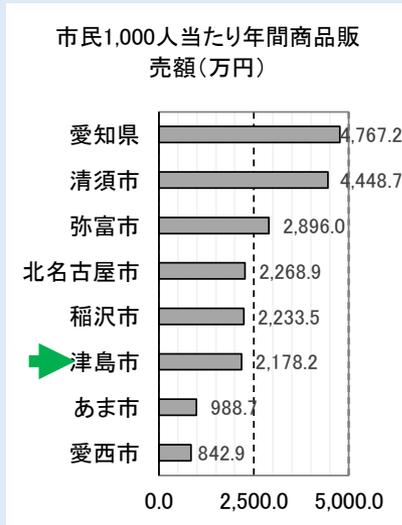
(5)教育

●津島市は市民1人当たり公立図書館蔵書数では、周辺都市、類似都市の中で相当多い。市民1,000人当たり文化・体育施設数、観光レクリエーション利用者数は、周辺都市より多い。



(6)産業

●津島市は愛知県平均より商品販売額、製造品出荷額等で低い水準。



市民意識調査結果(参考資料2)

調査の概要

- 調査対象:津島市在住の18歳以上の市民から2,300人(平成31年2月時点)
- 抽出方法:無作為抽出
- 調査方法:郵送配布・郵送回収
- 調査時期:平成31年2月20日から3月末(＊お礼兼・催促葉書を発送)
- 配布・回収結果
 - ・配布数:2,300件
 - ・回収数: 948件
 - ・有効回収数: 945件
 - ・有効回収率: 41.1%
- 設問内容
 - ・津島市のまちについて、日常生活や地域活動の実態、まちづくりを進めてきた効果、鉄道と移動手段、市民参加、今後のまちづくり

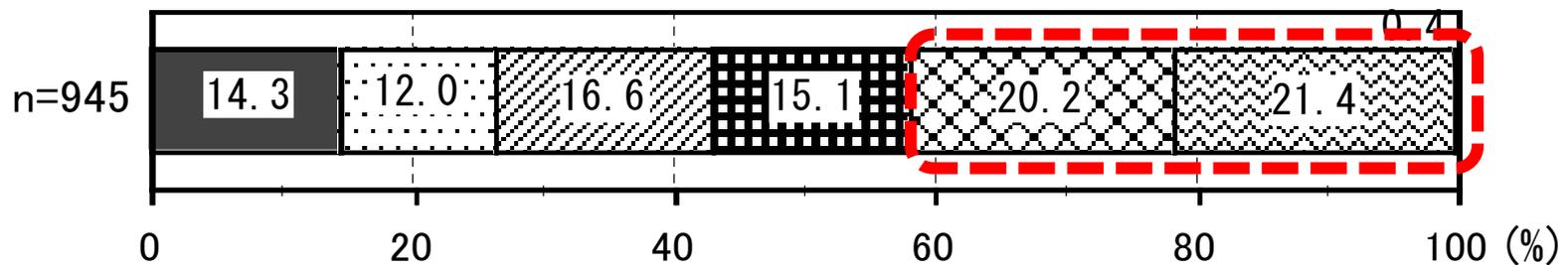
調査結果

回答者のプロフィール

(1)性別 「男性」が44.4%、「女性」が54.4%

(2)年齢 60歳以上が4割。「40歳代」が16.6%、「50歳代」が15.1% (⇒図)

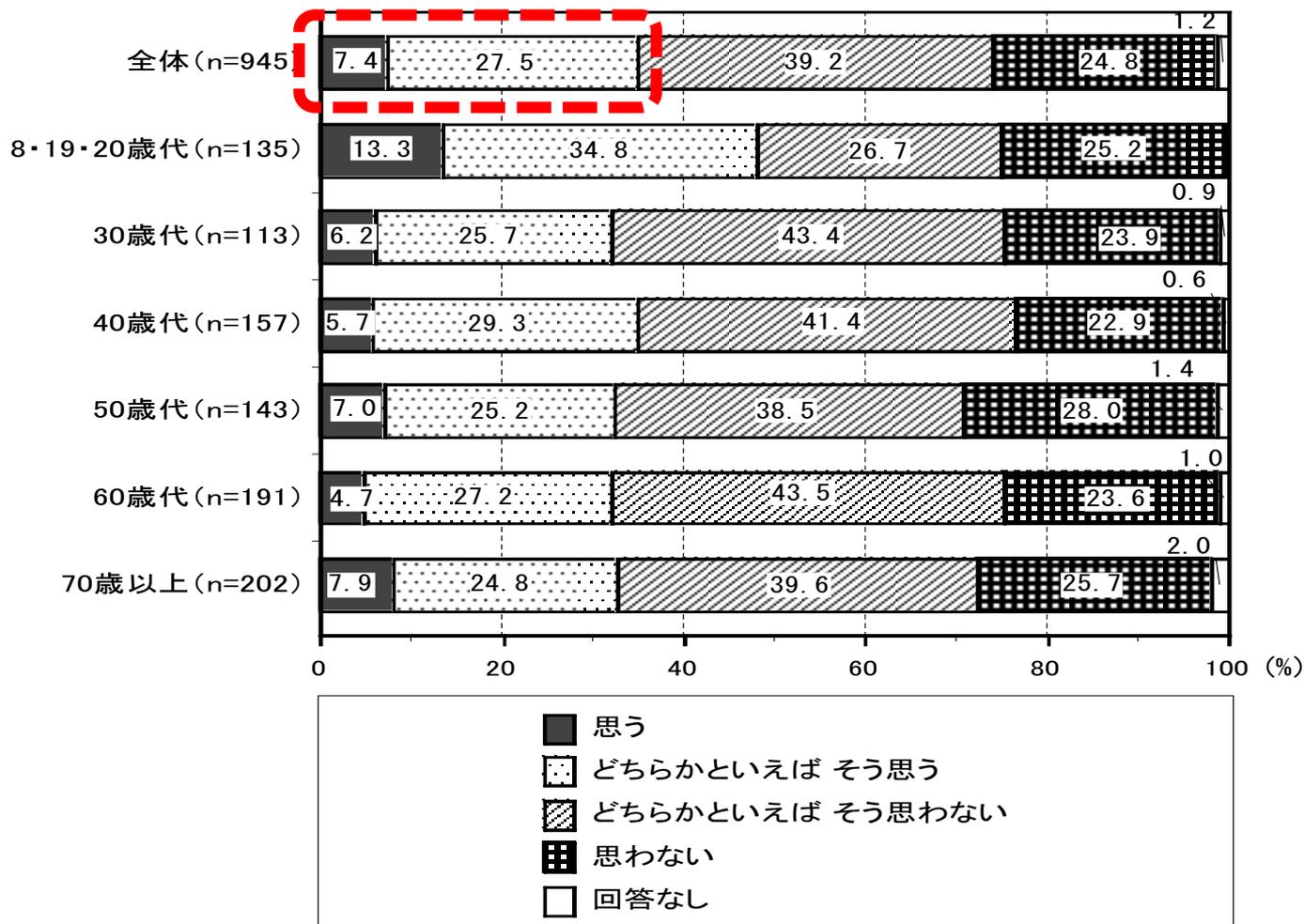
【年齢】



津島市の魅力

●魅力があると「思う」が7.4%、「どちらかといえばそう思う」が27.5%。
合わせて34.9%が『魅力があると思う』

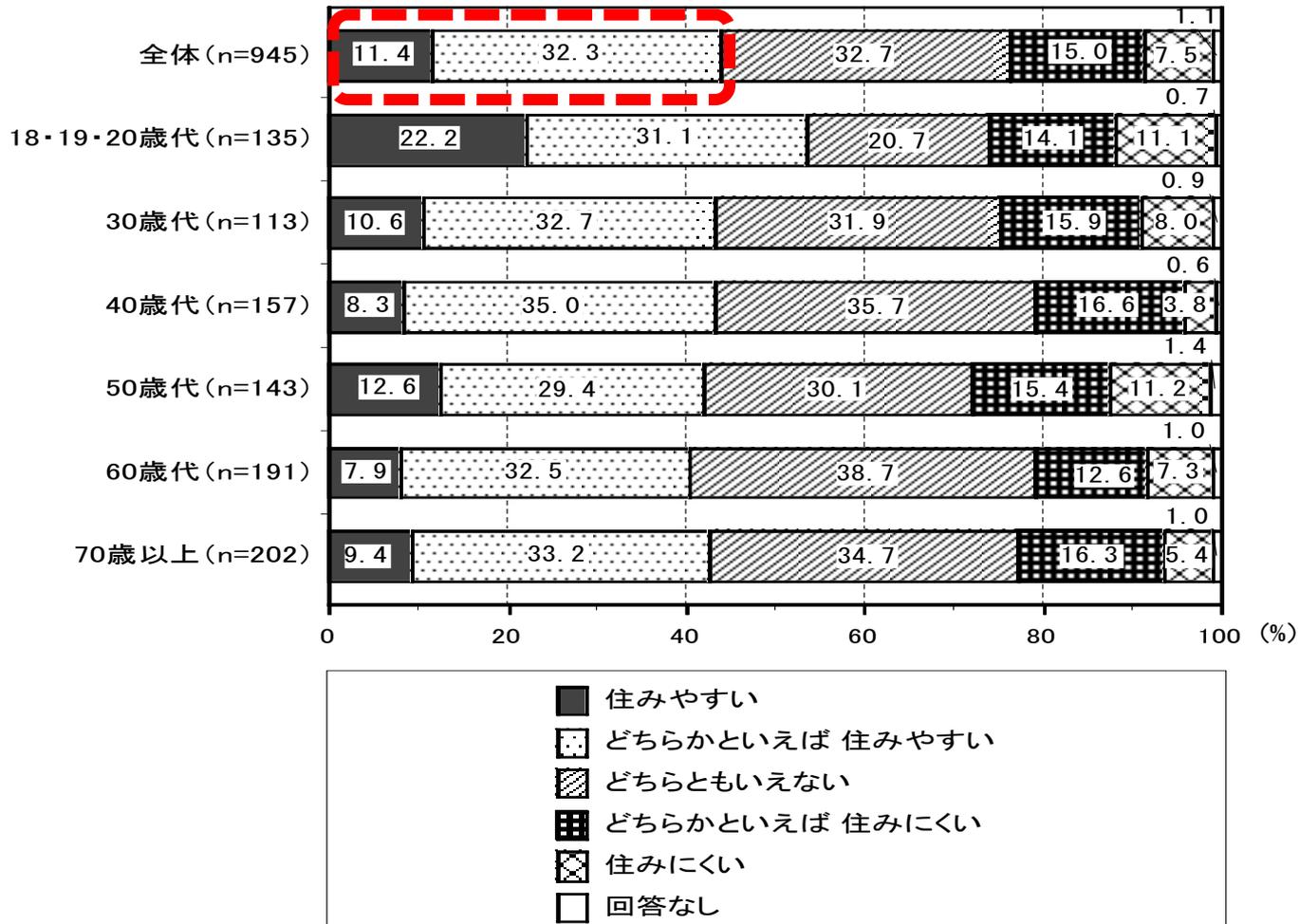
【年齢別「津島市の魅力」】



津島市の住み心地

●「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を加えると43.7%。

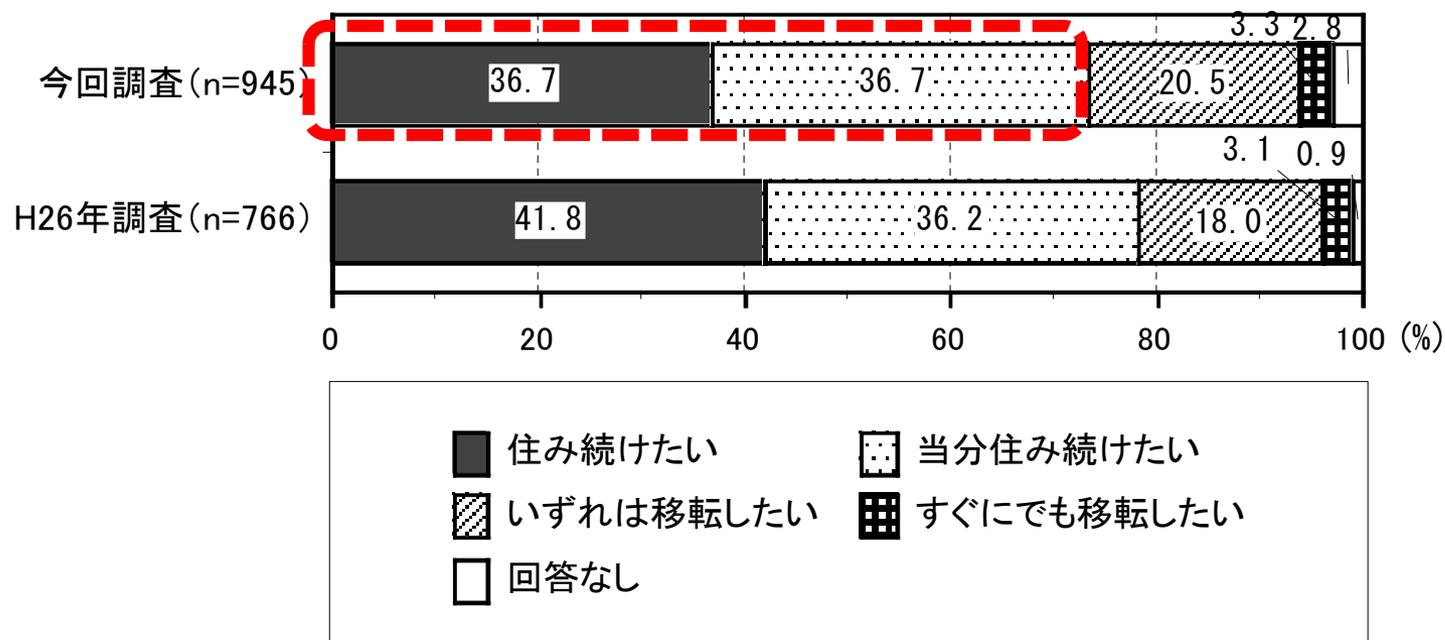
【年齢別「津島市の住み心地」】



定住意向

- 「住み続けたい」「当分住み続けたい」がそれぞれ36.7%と最も高く、合わせて73.4%と高い。
- 前回調査よりも、4.6ポイント下がっている。

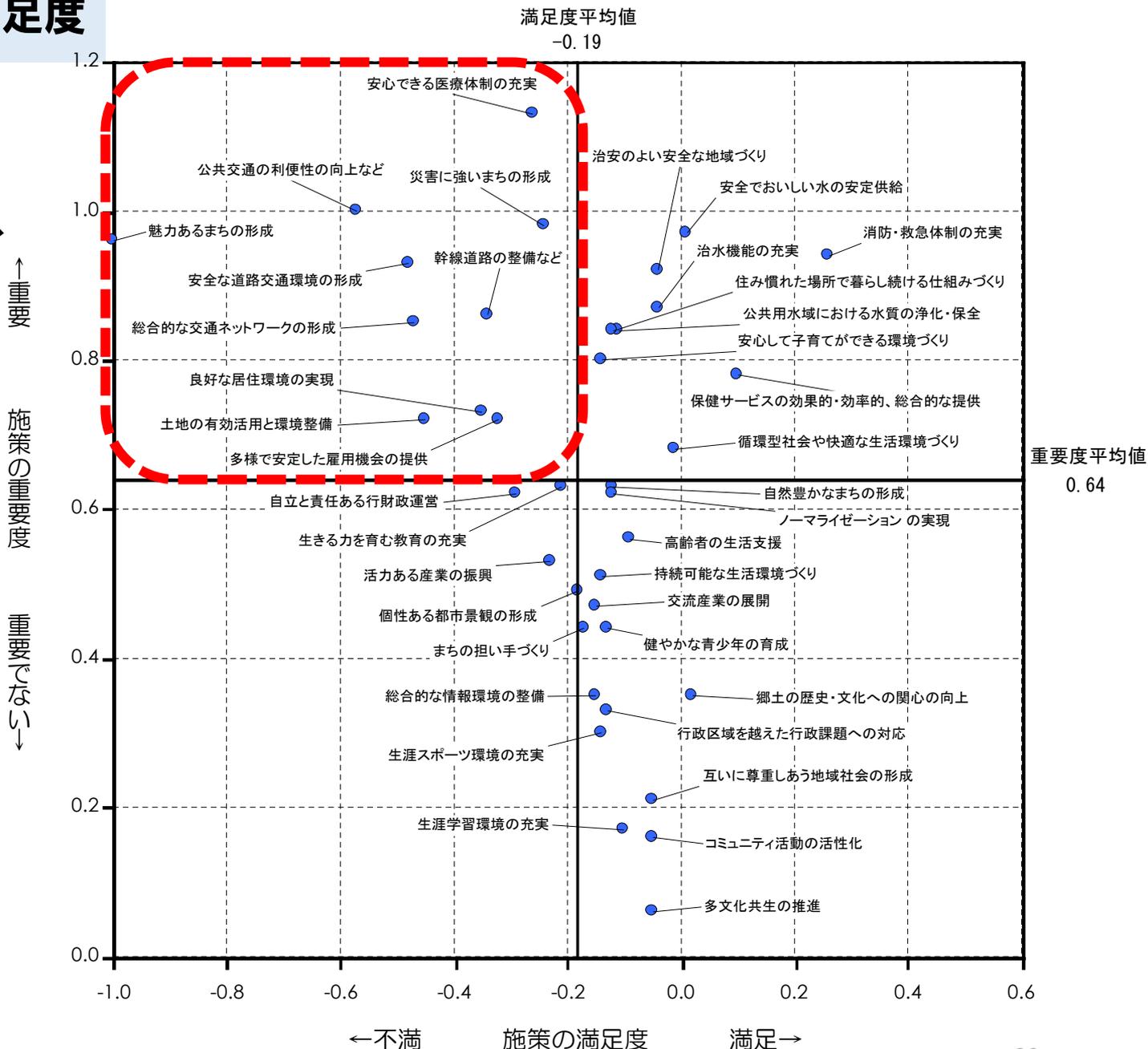
【定住意向(前回比較)】



施策への重要度・満足度

重要度は高いが満足度が低く、今後改善が望まれる項目は、「安心できる医療体制の充実」、「災害に強いまち」、「公共交通の利便性の向上など」、「魅力があるまちの形成」、「安全な道路交通環境の形成」、「幹線道路の整備」など

【重要度・満足度の関係】



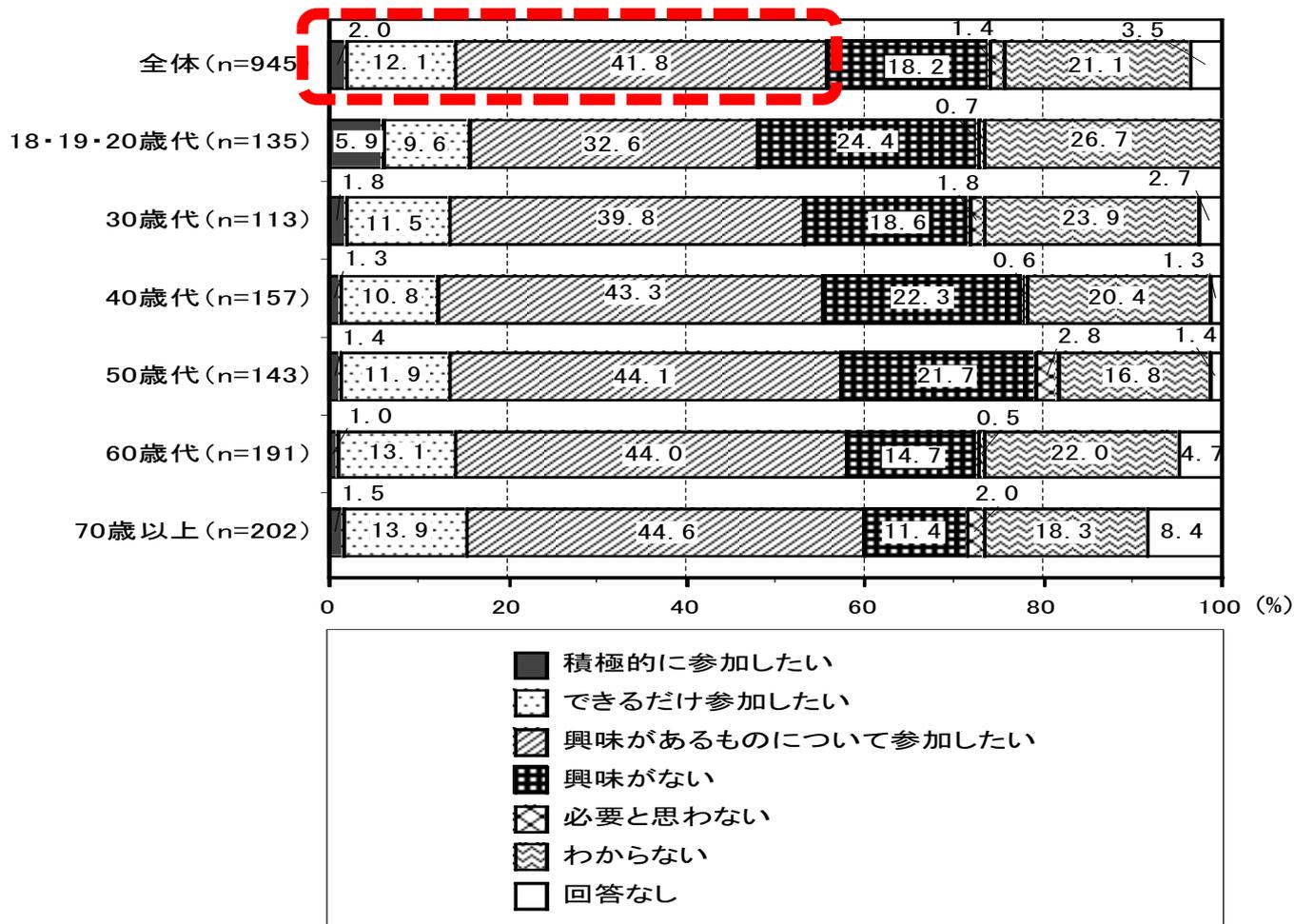
まちづくりや市民参加についての考え

●「興味があるものについて参加したい」が41.8%と最も多い。

●『参加したい』の合計は55.9%

(「積極的に参加」+「できるだけ参加」+「興味があるものについて参加」)

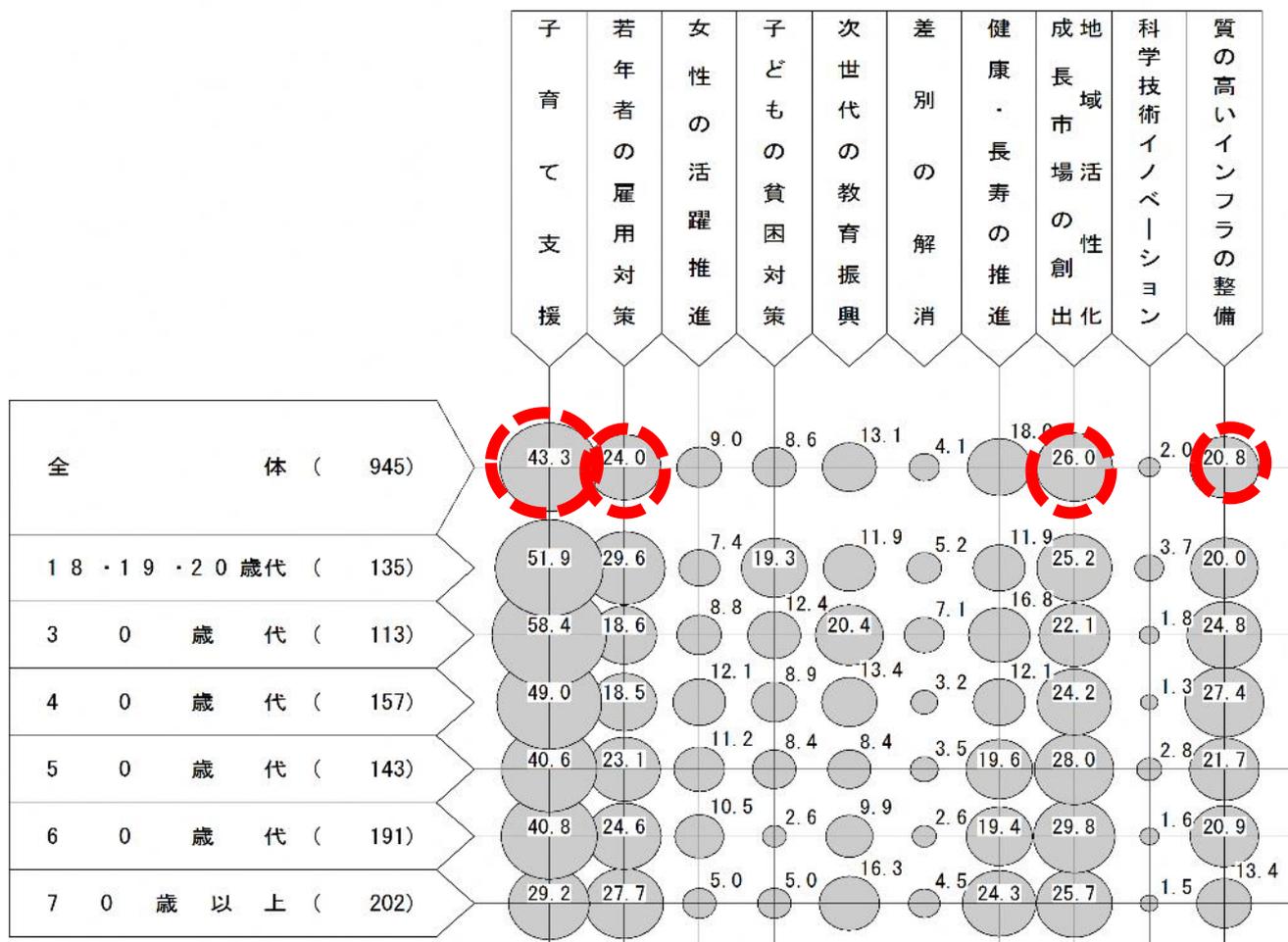
【年齢別「まちづくりや市民参加についての考え」】



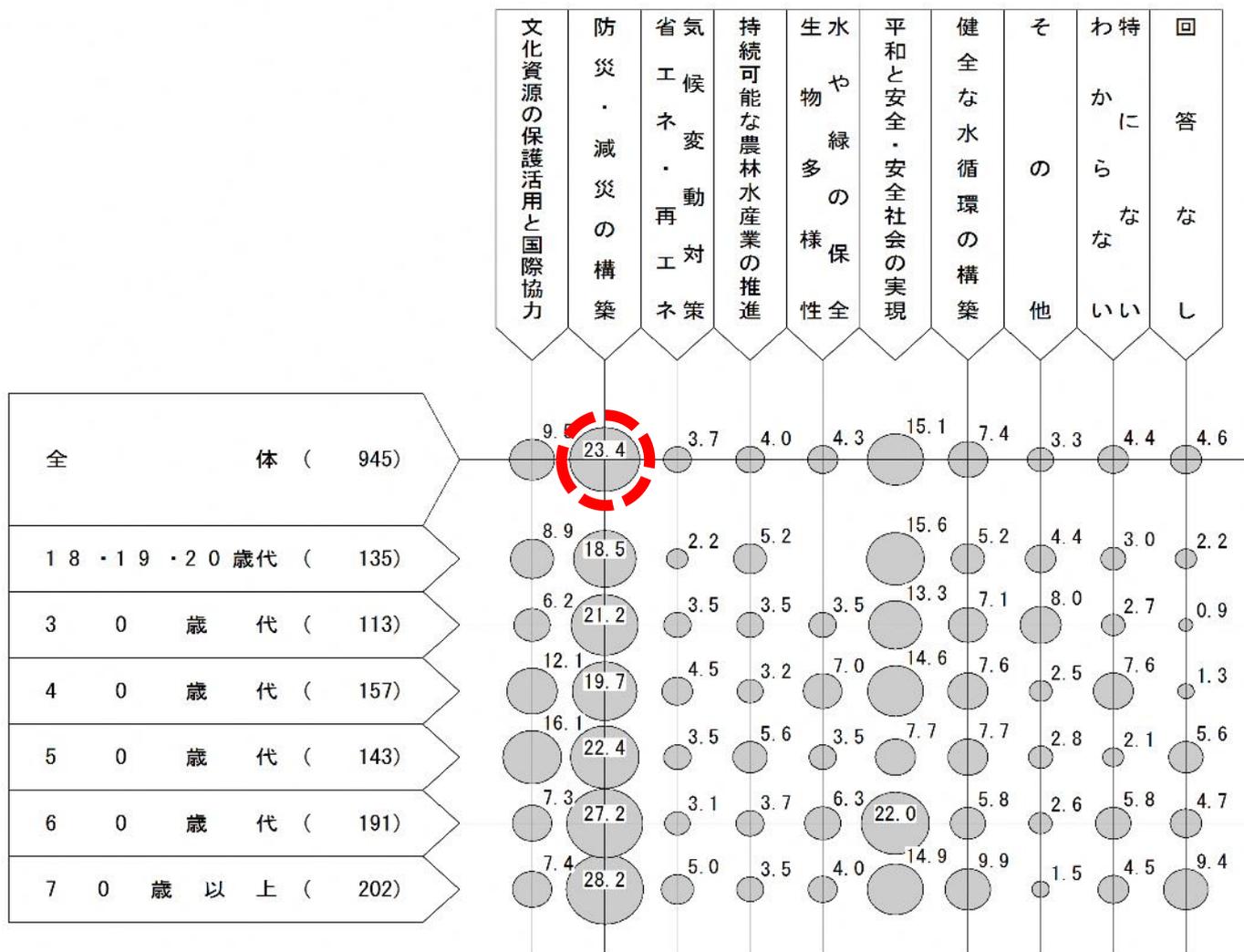
まちづくりで重要となるキーワード

- 「子育て支援」(43.3%)が圧倒的に高い。
- 「成長市場の創出・地域活性化」(26.0%)、「若年者の雇用対策」(24.0%)、「防災・減災の構築」(23.4%)、「質の高いインフラの整備」(20.8%)

【年齢別「まちづくりで重要となるキーワード」(3つまで〇)】



【年齢別「まちづくりで重要となるキーワード」(3つまで〇)】～続き～



第4次津島市総合計画 総括評価

(参考資料3)

調査の概要

- 現行の第4次津島市総合計画(2011-2020年)に基づいて実施してきた基本計画(分野別計画)の43の基本施策について、10年間の成果や課題を各担当課において総括し、分野別に整理・分析。

1. 市民とともに歩む自立した行政経営(協働・行財政運営)

- 市民団体の拠点づくり、コミュニティ推進協議会の拠点づくりを支援し、地域活性化に向けた市民活動団体や各地域のコミュニティの活動が活発化。
- 一方で、活動の担い手不足による地域活動組織の弱体化が危惧され、各地域の実情に合わせて地域コミュニティ組織の強化や活動を支援する必要がある。
- 市民活動団体に取り組む地域課題も変化しており、新たな担い手や活動グループの育成が必要となっている。
- 行政サービスの効率化や質の高度化を図るためには、必要な人員確保と効率的・効果的な業務の手法の開発・共有していくための仕組づくりが必要である。

2. 健やかにいきいきと暮らせるまち(保健・医療・福祉)

- 休日診療体制の維持ならびに三次救急まで対応できる体制を確保。今後は、一部の診療科で医師不足である市民病院の安定的な医療体制づくりが必要。
- 地区社会福祉協議会の設立の進展と「津島市地域包括ケアビジョン」の策定により、地域福祉体制の充実が図られた。
- 子育て支援に関しては、拡大する多様なニーズに対応した様々な支援策を着実に実行し、地域全体で子育てを支援する仕組みが構築できた。
- 子育て中の親の孤独感や不安感を緩和する取組、ならびに高齢者や障がい者の就労の場の確保や社会活動に参加できる環境づくりが必要である。

3. 生活と産業の調和した安心・安全なまち(産業・環境・市民生活)

- 地元野菜を使用したレストランを開設。生産者と消費者の交流の場ができた。
- コンシェルジュによる案内、小路整備や案内板整備等の実施により、平時の来訪者が増加し回遊性が向上。にぎわいを創出することができた。
- ごみ処理市民委員会と連携した分別啓発活動により、ごみ排出量が減少。
- 自主防災組織が主体で地域の防災関係行事を実施し地域防災力が向上。
- 農業振興には、後継者の育成や新規就農者の確保が必要。
- 消防・救急体制の充実に向けて、消防車両の老朽化対策を進める必要がある。

4. 豊かな心と文化を育むまち(教育・文化・人権)

- 学校支援本部及びコミュニティスクールの推進等、家庭・地域・学校が連携して取り組み、確かな学力を身につけた心豊かな子どもが健やかに育っている。
- スポーツフェスティバル事業や総合型地域スポーツクラブの活動支援事業等を通じ、誰でもスポーツに触れる機会が提供できた。
- 地域の宝を大切に残していく継承者になってもらえるよう、家庭・地域・学校が連携して郷土の誇りや愛着を育む必要がある。
- 文化継承・発展のため、郷土の歴史と文化を幅広く学習できる場が必要。
- 今後増加が予想される外国人と日本人の共生を進めることが求められる。

5. 快適な暮らしを支える基盤の整ったまち(交通・都市基盤・水環境)

- 平成26年に巡回バスの運行見直しで市内全域をカバーするルートを設定。
- 今後は、利便性の向上、ルートから漏れる地域の移動手段の検討が必要。
- 歴史文化ゾーンでは、小路整備、伝統的な町並み景観の維持に向けた建物の改修支援を行い、歴史性を感じさせる特色のある景観を維持・形成。
- 文化財としての価値を有する建物は、保存修理等の措置を講じる必要がある。
- 公園整備は、災害時の避難場所や防災拠点を確保するため、まちなかの身近な公園の整備を行うとともに、都市公園施設の長寿命化を図る必要がある。
- 老朽化した上下水道施設の計画的更新、災害時対応が必要である。

団体インタビュー調査結果

(参考資料4)

調査の概要

- まちづくりの様々な分野について、関係する各種団体を対象として、計32の団体にインタビュー調査(一部 別途調査を活用)を実施。

【テーマ・分野】

産業・観光交流・中心市街地、健康・福祉・医療、子育て・教育、コミュニティ

【ヒアリング項目】

今後10年間の津島市の主要課題、求められるまちづくりの取組、行政等と協働で取り組んでいきたい事業・活動内容など。

産業・観光交流・中心市街地関連団体の主なご意見

- 津島市とJAが連携して実施していくことが産業振興の面においても大事。
- 駅前を整備を早期に進める。おもてなし、くつろぎ、癒しが重要。
- 観光振興は歴史文化ゾーンの基盤整備が進み、今後はソフト面の充実が必要
- 核になるようなキーパーソンを育てることが重要。
- 新しい人がどんどん来てくれることがまち全体の活力につながる。
- 中心部は車が無くても歩いて便利な生活ができるように店を誘導。
- イベント開催には市の施設だけでなく、古民家や空き家を活用
- 市民のシビックプライドへの理解、ブランディング施策が必要

健康・福祉・医療関連団体の主なご意見

- 将来の津島を担う子ども達の教育に力を入れるべきである。
- 生涯スポーツを通じて健康長寿のまちをつくることが求められる。
- 公共施設全体の統廃合とともに、スポーツ施設の整備も計画的に進めていく。
- コミュニティの地域力を活かして、協働の地域づくりをさらに進めていく。
- 介護予防に力を入れることを考えると、運動を習慣づけることが良い。
- 障がい者が活躍できる社会にむけて、得意な仕事で活躍してほしい。
- 子どもが地域で気軽に行くことができる場があるのが望ましい。
- 点字ブロックがない箇所、道がでこぼこの箇所がある。

子育て・教育 関連団体の主なご意見

- 身近な医療機関で子どもの病気などを見てもらえる体制の充実を期待する。
- 支援センターで乳幼児が安全に楽しく遊べるような施設・設備の充実を求める。
- 永和駅などにエレベータを設置してバリアフリー化すべき。
- 父親が親子で子育てに参画できる機会の提供が大事。
- 身近な場所に子育てを相談できる場所や学童などの機能がほしい。
- 食の安全に配慮した給食をお願いしたい。
- アレルギー対応だけでなく、外国籍の子どもの食事への対応も必要。
- 学校を核とした地域づくりで、多様な世代のつながりをつくることが望ましい。

コミュニティ関連団体の主なご意見

- 全国に発信できる津島らしい事業をしてほしい
- 津島神社の前は電信柱の地中化してはどうか。天王通りを整備してほしい。
- 土地利用規制を見直す。
- 津島駅、青塚駅の駅周辺はゴーストタウンのようであり、整備してほしい。
- 人口減対策として市街化区域の拡大を行ってほしい。
- 政治が津島を良くする方向性を一致させて、改新してほしい。
- 他の地域の良いところを吸収して新たな取組を進めるべき。

つしま未来会議 結果

(参考資料5)

調査の概要

- 第5次総合計画の策定に向けて、市民の皆さんと一緒に、「これから10年間の津島市のまちづくり」について、子育てや教育、福祉、防災、にぎわいなど様々な観点から生活者の視点で自由に話し合い、今後求められる具体的なまちづくりのアイデア、市民主体の取組などについて、中高生を含む20名の市民と全3回の会議で検討した。



「津島市の”自慢・好き”と”不満・嫌い”」

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
自慢・好き ベスト3	歴史豊かな街並みと まつりの多い古い街	歴史・まつり	名古屋と行き来し やすい(10代)	伝統文化・祭
	自然豊かな子育て しやすい街	地域活動	歴史的シンボルが 多い(ナイスドル)	保育と治安が イイ!
	落ち着いた雰囲気 で学生が育つ街	生活しやすさ	天王川まつり (人生の先輩)	交通の便の良さ
不満・嫌い ワースト3	交通インフラ	駅前周辺が寂しい	歩道が悪い・企業が 少ない(人生の先輩)	津島駅とその周辺
	PR不足	災害	子育て支援がいま いち(ナイスドル)	公共施設の整備
	若い世代の転出	施設の老朽化	祭をもっと大き く!(10代)	お店が少ない

「10年後の理想の将来像と取組アイデア」

<①子育て・教育・若者・女性>

- ・子育ての活動や団体の情報共有
- ・プレーパーク整備
- ・住宅補助
- ・空き家の有効活用
- ・地域ぐるみでつながりを支える
- ・楽しく世代をつなげる
- ・若者の活躍

<②健康・福祉>

- ・若者文化を活性化
- ・公園、安心安全な場所に
- ・地域のすべての人の健康・娯楽
- ・運動したくなる環境
- ・みんなが集まる喫茶店
- ・高齢者の働く場
- ・バスを使いやすく

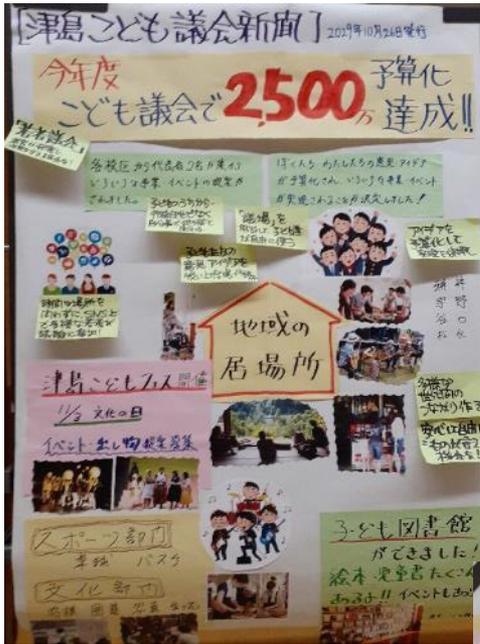
<③歴史・文化・観光>

- ・いきたく、自慢したくなるまち
- ・歩く・案内・宿泊
- ・永和駅の北に住宅整備
- ・まつりのPR
- ・健康づくり

<④生活環境・安全安心>

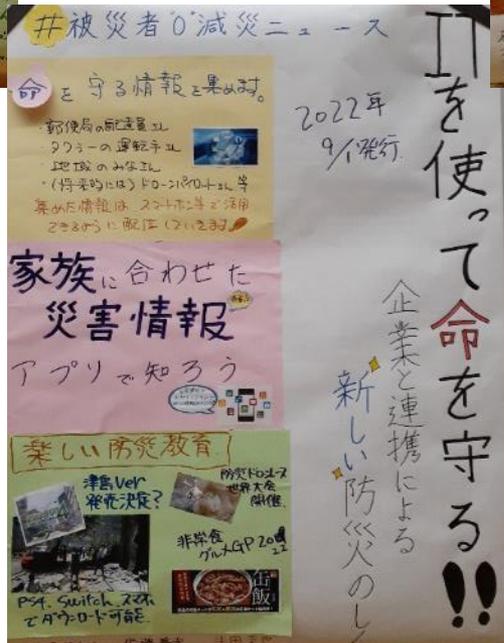
- ・災害による死亡者を出さないために避難場所の整備
- ・歩行者・自転車が安心して通行できる
- ・皆が集まる公園を地域で育てる
- ・企業と協力し、来訪者にとって安全なまち道路の危険度
- ・健康チェック、安否確認
- ・PR動画の発信

「市民協働プロジェクト 提案」



- ・家族向け 災害情報アプリ
- ・楽しい防災教育
- ・企業との連携 によって命を守る情報収集

- ・子ども議会
- ・地域の居場所
- ・子ども図書館
- ・子どもフェス



ITを使って命を守る!!
企業と連携による
新しい防災のし



- ・100歳現役
- ・運動する
- ・働く
- ・食べる
- ・交流する

- ・津島の味を楽しむ
- ・ダンス教室
- ・スタートアップ オフィス
- ・空き家活用



第5次総合計画策定ワーキンググループ 結果

(参考資料6)

概要

- 若手職員27名をメンバーとして、全6回の会議を通じて第5次総合計画における重点課題を議論するとともに、まちづくり戦略案、将来像を検討した。
- テーマ別に部会を構成し、総合的な視点から具体的な議論を展開。



「まちづくり戦略(骨子)」

基本目標 1・2 子どもとともに育つまち

施策の方針	主な事業
安心して出産・子育てできる	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミサポ支援者の増強 ・給食費無償化 ・予防接種費用の補助 ・医療助成の充実
『生きる力』の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の整備、美化 ・放課後教育の実施 ・運動公園の充実（体力向上）
大人も育つまち	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種のメリット・デメリットを学ぶ機会 ・ひとり親の就労支援 ・テレワーク、独立の支援をする ・地域で子どもの経験値を上げる。土日での過ごし方、イベントの活用

基本目標 3 歴史・文化を活かした特色と活気のあるまち

施策の方針	主な事業
歴史・文化的資産の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化講座の開催 ・文化財の保護 ・郷土学習（小・中学校）
交流人口の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報発信、AR、VR(IT)を活用した ・関東圏でのイベント（リニア開業を見据えて） ・歴史、文化的資産を活用したイベントの開催 ・有名人による歴史散策テレビ（ex.ブラタモリ）の招致 ・歴史、文化と触れ合い住むことが魅力とを感じるような施策、市民意識の醸成

基本目標4 お互いに支え合い、安心して暮らせる安全なまち

施策の方針	主な事業
防災、減災対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・避難ルート作成（行政、コミュニティ） ・防災教育（行政） ・防災アプリ（民間提案）
健康寿命の延命	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等に健康器具の設置 ・通いの場を設ける ・高齢者のいきがいづくり
自治活動、市民活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生、多様化支援+参加することができる、日本語教室 ・地域フェスティバル開催 ・コミュニティ推協・コミュニティサークル

基本目標5 持続可能なまちづくり

施策の方針	主な事業
コンパクトシティ化 良好な都市景観の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・都市施設誘導施策、計画策定 ・放置自転車の利活用 ・コスパの良いまち ・無電柱化事業
稼ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の推進、新たな場所 ・ふるさと納税 ・人員の適正化（給与ベースで1割減）
公共再編	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活用（PFI） ・学校空き教室の貸し出し ・学校施設の再編 ・空き地、空き家活用
ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化 ・マイナンバーカードのみで申請可能な行政システムの形成 ・キャッシュレスの推進